

【水彩画クラブ27】卒業後6年目の活動 2018年1月

◇第109回活動:2018年1月21日(日) 午後1時から ヌエック207室

今日は午後4時半から東松山市にある“満ツ乃”で「美松会 27 新年会」が予定されているので、水彩画クラブのみんなは電車・バスでヌエックに出かけた。

クラブ仲間の白井さんから「家庭の事情で水彩画クラブを辞めたい」との申し入れがあり、クラブ員のみんなに報告し、受け入れることにした。結果、部員数は12名となった。

今日の活動は午後3時半で終える予定で、課題写真『野ぶどう、数珠玉』を描いていきます。

各自自宅で、A4位のアルシュ水彩紙を水張りしてから、写真をトレースしてデッサンしてきた。

1. 課題写真を見ながら、光って白く見えている葉っぱや野ぶどう、数珠玉に細い水筆で描くようにマスキングを施していく。
2. マスキングインクを良く乾かしてから、野ぶどう、数珠玉に夫々の色を淡く描いていく。
 - ① 青っぽい野ぶどう7個、数珠玉2個に塗っていく。
鮮青色を薄めに水溶きし、細い小筆で淡く描いていく。
最初に塗った色を乾かしてから、隣の野ぶどうを描いていく。
塗った色を乾かしてから、キレイな青色や濃い青色を少しずつ混ぜた色をつくり、夫々の野ぶどうや数珠玉の周囲から塗って、丸みを出すように水筆で滲ませていく。
 - ② 赤っぽく見える野ぶどう1個
赤茶色に薄い焦げ茶色を少し混ぜて薄めに水溶きし、細い小筆で描いていく。
同じ色を濃い目にして小筆に取り、ぶどうの周囲から塗っていく。丸みを出すように水筆で滲ませていく。
 - ③ 紫っぽく見える野ぶどう1個
前項②でつくった色に紫色を混ぜた色を、細い小筆で薄めに描いていく。
少し濃い目の同じ色を小筆で周囲から塗り、水筆で丸みを出すように滲ませていく。
 - ④ 黄味がかかった野ぶどうの上に見える濃い目の紫色野ぶどう1個
紫色に濃い青色を混ぜて紫っぽい青色をつくり、薄めてから小筆で描いていく。
少し濃い目の同じ色を小筆で周囲から塗り、水筆で丸みを出すように滲ませていく。
 - ⑤ 黄味がかかった色に見える野ぶどう2個
緑色に黄色などを混ぜて色をつくり、細い小筆で薄めに描いていく。
少し濃い目の同じ色を小筆で周囲から塗り、水筆で丸みを出すように滲ませていく。
 - ⑥ 白っぽい色と紫の色が見える数珠玉2個
紫色を薄く水溶きし、玉全体を淡く塗っていく。少し乾いてから少し濃い目の紫色を細い小筆で写真を見ながら描いていく。直ぐに水筆で滲ませていく。
 - ⑦ 紫が混じった濃い暗青色の数珠玉1個
暗青色に焦げ茶色を少し混ぜた青っぽい影色に紫色を混ぜた色をつくり、細い小筆で薄めに描いていく。
 - ⑧ 塗った色をドライヤーで乾かしてから、数珠玉の影との境目に見える白い線状を、マスキングインクをGペンで描くように施しておく。
3. 葉っぱを描いていく。
 - ① 葉っぱの薄い緑色と、緑っぽい影色をつくる。
 - a) 薄い緑色 緑色に明るい緑色を混ぜ、薄めに水溶きしておく。
 - b) 緑っぽい影色 暗青色+焦げ茶色の影色に黄色を混ぜ、緑っぽい影色をつくる。
 - ② 葉っぱの形を見ながらa色で薄めに葉っぱ全体に塗っていき、直ぐに水筆で葉全体に滲ませていく。
 - ③ 塗った色をドライヤーで乾かしてから、薄く見える葉脈をGペンで描くようにマスキングしておく。
 - ④ 課題写真を見ながら、b色を小筆に取りグリザイユ技法で影になっている部分に色をおいていき、直ぐに水筆で滲ませていく。
 - ⑤ 塗った色をドライヤーで乾かしてから、暗青色+焦げ茶色でつくった濃い影色を小筆に取り、重な

り合う葉っぱの奥や台上に見える影を描いていく。直ぐに塗った色の端を水筆でぼかしていく。

※ 今日の活動を3時過ぎに終えた。自分の画材道具を片付け、研修室のテーブル・イスを元通りに並び替えて研修室を後にした。バスか歩きで武蔵嵐山駅から東上線で東松山駅に向かい、午後4時半からの新年会に向った。

4. 次回（2月11日(日)）の活動予定

次回の活動から課題写真『上田城址 懐古園のツララ』を描いていきます。

各自用意してくること。

- ① F8のウォーターフォード水彩紙を水張りし、「懐古園のツララ」をデッサンする。
ツララの形状は明るい画面の課題写真を見てデッサンする。
屋根に積もっている雪の青い影などの形を、暗めの課題写真を見てデッサンする。
- ② 明るい画面の写真を見ながら、軒瓦の丸い部分間からツララ全体にマスキングを施す。